

31自治振興会
の取り組み
事例を掲載!!

神石高原町 地域づくり活動事例集

神石高原町自治振興連絡協議会

平成22年12月15日



発刊にあたって

平素は神石高原町自治振興会連絡協議会に多大のご理解とご協力ご支援を賜り有難うございます。

さて、町内31自治振興会は、平成16年11月に旧油木町、旧神石町、旧豊松村、旧三和町が合併し神石高原町が誕生すると同時に、その活動を始めました。

この度、各自治振興会の活動のヒントになればとの思いから、それぞれの活動をまとめた「神石高原町地域づくり活動事例集」を発刊することとなりました。

皆さんの活動を改めて拝見いたしますと、それぞれの地域の実情に合わせて素晴らしい取り組みがされております。地域によって地理的な環境、世帯数、人口、年齢構成等に大きな違いがありますので一律にというわけにはいきませんが、過疎・高齢化が進む中、今後も自治振興会の役割は益々重要となってまいります。この活動事例集を通して、皆さんが“地域づくり”に対する理解をさらに深められ、地域活動に積極的に参加していただければ幸いと存じます。

自治振興会の活動の原点は、『自分たちの地域を守り良くするのは自分たちの力で』にあると思います。

これからも少しでも地域の皆さんに喜んでもらえる、元気の出るような活動を目ざしてがんばりましょう。

最後に、この活動事例集の作成にあたり、ご協力をいただいた多くの方々に感謝申し上げます、発刊のごあいさつといたします。

平成22年12月15日

神石高原町自治振興連絡協議会
会長 大橋 崇信

地域づくり活動事例集

目次



じょうやまじちしんこうかい

城山

自治振興会



城山自治振興会は、82世帯、260人で構成する自治振興会です。

町有地を自治振興会が借り受けて、多目的広場として管理しながら、以前はゲートボールが主流でしたが、現在はグラウンドゴルフや防災訓練等地域の交流や活動の拠点としています。

グラウンドゴルフを通じて世代間交流

本年度で第6回を迎える子ども世代を交えた「グラウンドゴルフと子ども交流会」を、毎年8月下旬に開催しています。

チーム数は10に達することもあり、運営スタッフはコースづくりと賞品調達など、大会準備に苦労はありますが、当日の老若男女の歓声と笑顔に救われています。

工夫を重ね会員相互の親睦を深める

本年度も8チームが参加し、子どもを含めた参加者は65人でした。

団体、個人とも各3位まで賞品授与がありました。



くり部が担い、製粉されたそば粉は12月のそば打ち講習会で使用されます。

講習会当日は、地域の皆様を招待して試食会を開催し、地域交流を実施しています。



休耕地を利用してそば打ち講習会

8月はそばの種まきをします。地域の休耕地を借り受け、作付けから脱穀まで全てふるさとづ

こうした地域の取り組みは、振興会の目的とする会員相互の親睦を深めることにつながり、これからも毎年工夫を重ね継続事業として取り組んでいきます。

住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 城山自治振興会（会長：花岡祥司）
- 〔世帯数・人口〕 81戸・251人
- 〔人口構成〕 15歳以下16.3%、16～64歳52.2%、65歳以上31.5%
- 〔班構成〕 3班（岡、古市、竹川内）
- 〔組織構成〕 総務企画部、住みよいまちづくり部、ひとつづくり部、ふるさとづくり部
- 〔役員構成〕 会長1人、副会長1人、班長3人、部会長4人、事務局2人

にしゆきじちしんこうかい

西油木

自治振興会



西油木自治振興会は、まず各地域の連携を密にすることが重要と捉え、各班及び振興会がそれぞれ毎月定例会を実施し、意見交流を行っています。

定例会においては、各戸及び各地域の代表や役員が集い、情報交換と協議を行っています。

主な活動

- 振興会だより「SMILE」定期発行。
- 地域活性化のための「地域づくり講演会」の開催。
- 地域交流・都市農村交流の場づくり「西油木あけぼの公園」の整備管理。
- 300本の桜木を植樹し、毎年下草刈り等を実施。



桜木の管理作業

地域住民が主体となった 地域住民のための振興会活動

- 毎年2回の「空き缶・ごみ拾い運動」の実施。
- 有志の方々を交えた、年末年始の国道脇イルミネーション事業。
- メイン道路沿いに水仙を植えていく「花いっぱい運動」の実施。
- メイン道路沿いの街路樹の剪定と防除の実施。
- 自主防災組織では、防災講習会・救命救急講習会の実施。

協賛活動

- シルトピア油木「納涼祭」へのスタッフ参加。
- 寺脇観音様の盆踊り
- 老人会「かたくりまつり」

一丸となって

ゆきふるさとまつり「綱引き王選手権」では、一致団結して5年連続優勝しました。

輝く地域であるために

西油木自治振興会は、多様な活動を行う一方、素晴らしい人たちが構成されています。人口動態を見ますと、今後も限界集落が増えると思われませんが、どんなに小さな集落でも、「住んでいる方々が輝く地域であるため、地域住民が主体となった地域住民のための振興会」のコンセプトを基軸に、今後も活動を行っていきます。



シルトピア油木「納涼祭」

住民自治組織データ

〔自治振興会名〕 西油木自治振興会（会長：小里日出美）
 〔世帯数・人口〕 149戸・328人
 〔人口構成〕 15歳以下8.0%、16～64歳42.1%、65歳以上50.0%
 〔班構成〕 6班（シルトピア、野田丸、当川内、門田原、入谷、福本）
 〔組織構成〕 総務部、健康福祉部、ふれあい文化部、産業振興部
 〔役員構成〕 会長1人、副会長1人、班長6人、部会長4人、事務局2人

いちばじちしんこうかい

いちば 自治振興会



自治振興会の取り組みが始まって以後、いちば自治振興会では会員の多くが参加できるとともに、みんなが共通の認識を持って活動できる事業を模索してきました。

私たちの地域は、面積は小さいですが戸数は200戸以上あり、また町営住宅をはじめとして公共民間の賃貸住宅が多い商店街地区といった状態で、戸数の割に班は4班しかなく、色々なことの周知や行事への参加を依頼する班長の苦労も多いのが現状です。



「とんど」で始まる 新たな絆

このような中で、今回ご紹介する「とんど」は、地区の皆さんの好評を得ている事業となっています。

「とんど」の習慣はいちば地域には無かったようですが、会員の中から「お正月のしめ飾りをどうしよう。ゴミ袋に入れて収集してもらうのも気が引けるし、かといって自宅の周りでしめ飾りだけ燃やすわけにもいかないし・・・」といった声を聞き、それならばいちば自治振興会で「とんど」をやろう。となったわけです。



竹の組み方も分からない中、どうか形になった「とんど」に当日の朝、多くの方が家のしめ飾りを持って来ていただきました。竹の葉や紙が街中にススとなって飛んでいくことを心配していましたが、皆さんの理解があり苦情はありませんでした。それよりは「うちの竹を切って使ってください

い」、「うちの古い木材を利用してください」といった声が届くようになりました。

確かに竹林も放っておくと厄介者ですし、木材も倉庫で腐らすだけよりも処分できるということもあるでしょう。しかし、雪の重みで道路に覆いかぶさる竹林を「とんど」で利用することで住宅街の美化にも貢献できているのではないかと考えています。

風の強い日は心配ですが、住民の理解を得ながら今後も続けていきます。



住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 いちば自治振興会（会長：中野三郎）
- 〔世帯数・人口〕 207戸・505人
- 〔人口構成〕 15歳以下 10.3%，16～64歳 52.9%，65歳以上 36.8%
- 〔班構成〕 4班（市場後，市場上，市場中，市場下）
- 〔組織構成〕 総務企画部，住みよいまちづくり部，ひとづくり部，ふるさとづくり部
- 〔役員構成〕 会長1人，副会長1人，班長4人，部会長4人，事務局2人

ひがしゆきじちしんこうかい

東油木

自治振興会



ヒメボタルを見る夕べ

出佐班の貝原に生息するヒメボタルの観賞はとてもきれいで、見る人を魅了します。夕方からヒメボタルの光が山の中に広がり、自然の雄大さを実感できます。地域の財産を大切に、守ることを目的として始めました。



会員相互の交流

盆踊りの継続

今年で32回になる班の盆踊り。振興会で唯一地域の盆踊りであり地域伝統文化を継承するた

め、継続の後押しをしています。会員が参加し、地域文化にふれあう場として開催しています。



1日だけの居酒屋

振興会会員の相互交流を目的とし、地域に居ながらなかなか話す場がないことの解消、また、地域の食材を使いながら手作りの料理を堪能し、地域の活性化を図ることを目的に1日だけの居酒屋をオープンしています。



住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 東油木自治振興会（会長：内藤 栄）
- 〔世帯数・人口〕 65戸・188人
- 〔人口構成〕 15歳以下10.1%、16~64歳43.6%、65歳以上46.3%
- 〔班構成〕 4班（細田、出佐、宗兼、岩貝）
- 〔組織構成〕 総務部、福祉部、交流部、産業部、文化部
- 〔役員構成〕 会長1人、副会長1人、班長4人、部会長5人、事務局2人

みなみゆきじちしんこうかい

南ゆき

自治振興会



3世代交流 グラウンドゴルフ大会

平成20年、21年に実施し、今年も11月に実施予定です。場所はシルトピアグラウンドです。2ラウンドプレーした後、場所を交友館に移し、成績発表と昼食を兼ねた懇親会を行います。

新年会

毎年1月又は2月初めに交友館で、町長を招き町政報告を聞いた後、新年会を開催しています。

年末そば贈り

福祉活動として、福祉保健部の部員と役員計10余人が交友館でそばをつくり、振興会内70歳以上の方々に贈っています。時期は12月下旬で、大変喜んでいただいています。

皆の意見を反映させて 住みよい地域づくりの実践へ

納涼祭

子ども達に夏休みの楽しい思い出を作ってやりたい、皆が集って楽しむ機会を増やしたいとの目的で、今年初めて8月1日(日)に開催しました。

若い人達が企画・準備・実施をしました。焼肉、焼きそば、おにぎりを作り、ゲームは輪投げやビンゴゲームを企画してくれました。賑やかに楽しく過ごしました。

美化清掃活動

環境美化活動として、地域内の道路沿いの空き缶、空ビン、ごみを拾う行事を11月頃実施しています。終了後は簡単な懇親会を行います。

南ゆきだより

“南ゆきだより”を不定期の発行で、年3、4回発行しています。内容は振興会内のイベント報告や種々のお知らせをしています。



住民自治組織データ

- 〔自治振興会名〕 南ゆき自治振興会（会長：森脇善昭）
- 〔世帯数・人口〕 63戸・156人
- 〔人口構成〕 15歳以下10.3%、16~64歳55.8%、65歳以上34.0%
- 〔班構成〕 2班（高水池、有元）
- 〔組織構成〕 総務企画部、福祉保健部、産業振興部、文化スポーツ部
- 〔役員構成〕 会長1人、副会長1人、班長2人、事務局2人